

科目名「病理学・口腔病理学」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	久山 佳代
科目ナンバリング	B-4-③-I-09	
単位数	2	
学習目標 (G I O)	<p>病理学は疾病の原因，経過および結果を追究し，それらを体系化して理解することにより，疾病の本態を究明する学問であり，基礎医学と臨床医学の架け橋として重要な役割を担っている。</p> <p>歯科臨床の一翼を担う歯科衛生士として必要不可欠な疾病の理論や口腔病変の概要を理解するとともに，考える基礎を学ぶことにより，自己の問題発見および解決能力を身につける。</p>	
担当教員	*久山佳代，*宇都宮忠彦，*末光正昌，中山光子	
教科書	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学 医歯薬出版	
参考図書	新スタンダード口腔病態病理学；槻木恵一，岡田康男 編者；学建書院、歯科衛生学辞典；全国歯科衛生士教育協議会監修 編者；永末書店	
評価方法 (E V)	<p>1) 平常試験1 (50%)、平常試験2 (50%) の割合を目安とし、小テスト，レポート，授業態度なども併せて最終評価とし，60 点以上を合格点とする。</p> <p>2) ただし、最終評価が60点に達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。</p>	
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>疾病の理論や口腔病変の概要を理解することは臨床歯科診療のみならず，一般社会生活でも応用できるので，興味を持って講義に参加して下さい。</p>	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/2	<p>病理学とは 病因論</p> <p>遺伝子疾患と先天異常</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>病因・病態を理解するために、疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を修得する。</p> <p>先天異常を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 病理学とはどういう学問か，あるいは臨床医学との関わりについて説明する。</p> <p>2. 奇形は先天的に生じる肉眼的な形態異常であること，およびその成因や種類を説明する。</p> <p>【準備学習項目・時間】</p> <p>予習・復習時間：各90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・先天異常を分類できる。 <p>【アクティブラーニングの有無】</p> <p>無</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p>	*久山

<p>第2回 10/9</p>	<p>循環障害 細胞・組織の障害</p>	<p>【授業の一般目標】 細胞・組織の障害（代謝障害）を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 物質の代謝障害により生じる形態学的変化は変性、萎縮、壊死に大別されるが、その概要を述べる。 2. 生体は血液およびリンパ液を介して物質代謝を行っており、それら循環の障害となる原因、成因、病態について説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・退行性病変における萎縮、変性及び壊死の定義について述べることができる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>*宇都宮</p>
<p>第3回 10/16</p>	<p>増殖と修復 (進行性病変)</p>	<p>【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義を修得する。 【行動目標（SBOs）】 病因に対する生体の積極的な反応が進行性病変であり、肥大と増生、再生、創傷治癒、化生における病理学的特徴を説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>*宇都宮</p>
<p>第4回 10/23</p>	<p>炎症</p>	<p>【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義を修得する。 【行動目標（SBOs）】 炎症は循環障害、退行性病変および進行性病変を併せ持つ生体防御反応の総称であること、およびその分類、病態、あるいは経過について説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・炎症性細胞の役割について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>*宇都宮</p>
<p>第5回 10/30</p>	<p>腫瘍</p>	<p>【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び生物学的意義を修得する。 【行動目標（SBOs）】 腫瘍は生体を構成する細胞の自律的な増殖であり、その成因、分類、病態の概要を述べる。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>*宇都宮</p>

<p>第6回 11/6</p>	<p>平常試験1 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために奇形・代謝異常，退行性病変，進行性病変，炎症及び腫瘍の病理学的知識を包括・整理する。 【行動目標（SBOs）】 全身の疾患を整理・理解し，理論的に説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各120分 第1回～第6回の講義内容をまとめる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 試験・講義</p>	<p>*宇都宮</p>
<p>第7回 11/13</p>	<p>歯の発育異常 歯の損傷と着色 口腔領域の奇形</p>	<p>【授業の一般目標】 歯の発育異常，歯の損傷，口腔領域の奇形を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標（SBOs）】 歯の発育異常，および咬耗・磨耗，口唇裂などの口腔の奇形について，生体の発生と関連して，その成因，種類および病態を説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・口腔が関係する全身性疾患について列挙できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>中山</p>
<p>第8回 11/20</p>	<p>う蝕</p>	<p>【授業の一般目標】 う蝕を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する 【行動目標（SBOs）】 う蝕は口腔内常在菌による有機質の崩壊と無機質の脱灰により生じる歯の実質欠損であり，その成因，分類，病理組織学的な特徴を列挙する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・歯の正常組織構造について解説できる。 ・う蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>*末光</p>
<p>第9回 11/27</p>	<p>歯髄の病変 根尖部歯周組織の病変</p>	<p>【授業の一般目標】 歯髄の病変，根尖部歯周組織の病変を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯髄炎を中心にその成因，分類，病態について解説すると共に，随伴する種々の歯髄組織の反応について述べる。 2. 根尖性歯周炎について説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・歯髄炎の原因について解説できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>*末光</p>

<p>第10回 12/4</p>	<p>歯周組織の病変</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周組織の病変を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯肉炎や歯周炎などの歯周疾患の成因，分類および病態について説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・歯肉，歯周組織の正常構造について解説できる。 ・退行性病変について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*末光</p>
<p>第11回 12/11</p>	<p>口腔粘膜の病変 口腔の創傷治癒</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜の病変，口腔の創傷治癒を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔粘膜の角化性病変，感染症，腫瘍類似疾患および前癌病変があり，その病因と病態を述べる。 2. 口腔の創傷治癒，特に抜歯創の治癒について病理組織学的に説明する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 ・口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*末光</p>
<p>第12回 12/18</p>	<p>顎骨の病変</p>	<p>【授業の一般目標】 顎骨の病変を理解するために、その成り立ち，分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 顎骨領域の炎症，嚢胞，腫瘍の成因や病態，病理組織学的特徴を列挙する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・顎骨の正常組織構造について解説できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*末光</p>
<p>第13回 12/25</p>	<p>唾液腺の病変 口腔の加齢変化</p>	<p>【授業の一般目標】 唾液腺に発生する病変を理解するために、その成り立ち，分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 唾液腺の病変の成因や病態，病理組織学的特徴を列挙する。 2. 加齢に伴いみられる口腔組織の形態学的変化の概略を述べる。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・退行性病変について説明できる。 ・唾液腺の正常組織構造について解説できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*末光</p>

<p>第14回 1/15</p>	<p>まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 一般病理，口腔病理の総括を行う。 【行動目標（SBOs）】 1. 病理学の位置づけ，病変の分類と成因を説明できる。 2. 口腔領域の病変について総括する。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：各90分 ・疾患の分類を列挙できる。 ・口腔領域の病変を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 クリッカーを用いた小テストの実施 【学習方略（LS）】 講義・演習</p>	<p>*末光</p>
<p>第15回 1/22</p>	<p>平常試験2 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために口腔に発生する奇形・代謝異常，退行性病変，進行性病変，炎症及び腫瘍の病理学的知識を包括・整理する。 【行動目標（SBOs）】 口腔に発生する疾患を整理・理解し，理論的に説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習・復習時間：120分 ・第8回～第14回の講義内容をまとめる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 試験・講義</p>	<p>*末光</p>